

熊本のアクティブな大人たちを応援するコミュニティサービス「リビング・アクティブクラブ」(入会無料)。今ドキの50歳~79歳の元気で活動的な大人たちをドキドキ・ワクワクさせるお得な情報をメールで発信しています。

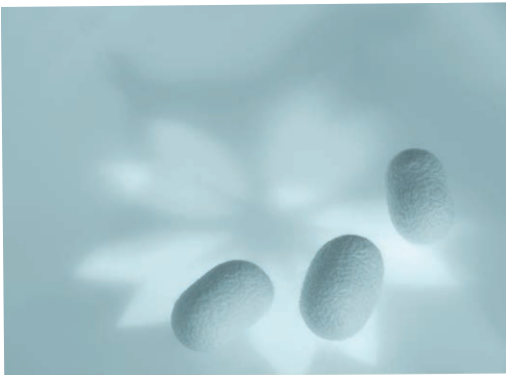
会員登録料
年会費 **無料**

ヒント1 モットーは？

「とにかくおもしろいこと。」

撮影旅行に行ったとき、みんながお城を撮るなか、ひとり、鳩の糞を撮ったというエピソードも。「糞が白いお花に見えた」からだそう…。この発想に目が離せません!

カイコの繭が糸になるのを心待ちにして撮影した『糸』



メディアで話題の熊本出身・88歳現役カメラマン あの、西本さんに直撃!

72歳のとき、写真塾の仲間におすすめられてはじめたカメラ。写真塾に入り、カメラの奥深さに触れ、たくさんの仲間にも出会った熊本出身の現役おばあちゃんカメラマン・西本喜美子さん(88歳)は、今でもキラキラ輝く人生を送っています。73歳ではじめてさわったMac(パソコン)も、今では写真の加工で使いこなすほどに…。西本さんにとって「人生何でも遅すぎる」なんてことはないんです! 今回はそんな西本さんにインタビュー。いくつになっても自分らしく輝けるヒントを教えてくださいました。

40分の試行錯誤を経て完成した『ひなたぼっこ』



彼女が撮影した写真も一挙紹介!



ツバキの悩み相談を聞きながら撮った『一番好き』

ヒント3 アクティブ世代へのメッセージをお願いします

「自分の好きなことをやりたいようにやるのが一番。」

まよわずこれをひと言。元気なときに、自分らしくやってみたいことにチャレンジしているのだそう。時にはカメラマン、時にはボーイフレンドたちと若々しく遊ぶパワフルおばあちゃん…。あふれる西本さんの感性は、やりたいことをやっているからこそなのかもしれません

シシトウを蝶々に見立てて撮影した『バレバレ』



ヒント2 自分らしくいれるコツは？

「できなくなったことはやり方を変えればよか。」

足腰が弱くて、簡単には外出できなくなったからこそ見えてきた世界があるそう。転がってる石ころをかっていいって思えたり…。「(足腰が弱くなったからこそ)そこから見える世界観もなかなかよかよ。」とのこと

テレビからもひっぱりだこの西本さんって一体どんな人…?



インターネット上に投稿された自撮り画像が「衝撃的すぎる!」と、瞬く間に拡散され、若者を中心に話題になっているおばあちゃんカメラマン。いくつになっても、自分らしく楽しむ姿に「自分も将来こうなりたい!」との声が続出中なんです。

写真集

『ひとりじゃなかよ』(飛鳥新社)が発売中!



この独創的な自撮り…。よく見れば手元にシャッターを発見。かなり本格的なんです!

